



ノートテイクになるために (Q&A)

Q1. ノートテイクって私にもできる？

学務課 (aca-notetake@ml.hyogo-u.ac.jp) にご連絡ください。講習会のお知らせを行っています。講習会では、聴覚障害やノートテイクを行うソフト等の説明を行い、講習会に参加した学生を支援学生として登録しています。

Q2. タイピング速度が遅くてもできますか？

ノートテイクとしてのタイピング速度は、120文字程度/1分間が求められますが、最初からその速度で打てる方ばかりではありません。練習会などを通して、できる範囲からノートテイクとして活動していただいています。タイピング速度を必要としない映像資料の文字起こしなどの支援活動もあります。

Q3. 学部生ですが、できることはありますか？

大学院の授業を学部生の方にもノートテイクしていただいています。また、ノートテイク以外にも支援活動がありますので、ぜひお気軽にご登録ください。

Q4. パソコンが必要ですか。

基本的には、大学のパソコンを使って支援を行います。ただし、ご自身のパソコンの方が打ちやすいなどありましたら、ご相談ください。

Q5. 支援をする上で気をつけることはありますか。

聴覚障害学生がスムーズに授業参加ができるように、事前に送られてくる授業資料に目を通したり、タイピング速度を上げるための自己練習などを積極的に行ってください。また、体調不良などで支援に入ることが難しい時は早めにご連絡ください。